

【自由記載内容】

・ 臨床検査技師の卒後教育に関する活動について

- 2 口学会HPの具体的な活用方法について

- * 標準化に向けての様々な検査。(特に形態学)の示唆。
- * 画像を取り込んで細胞鑑別に役立つようなページを作成されてみては如何でしょう？
- * サーベイ他。メールによる質問。掲示板。
- * 判別しにくい細胞などの分類の仕方など。標準化に向けて。
- * 症例提示やセミナーの内容など。
- * 症例の提示、双方向のやり取りなどできるとさらに可。

- 4 経験の浅い技師のための教育活動について

- * 標準法の冊子等の作成
- * 神戸では以前一年に一回、シニア向けの講習会を催していました。土、日曜日両日に神戸常磐短大を技師会がお借りして、講師、世話人を集めてやっていました。小さな病院などでは、なかなか指導してもらえないとのこと、応募者はかなりありました。私も、世話人として6年くらい参加しましたが、今も教え子さんと交流が続き、よく標本を見て欲しいと言われ、良い関係ができ、大変良かったと思っています。
- * 初、中、上級の到達度？別の学習会。初級の人がいきなり上級者向けの話の聞くと頭がパニックになります。地域別で頻回の学習会が良いと思います。
- * ルーチン検査でつまずいた時にわからないことを聞ける場があればいいなあと(できるならば地域においては指定施設)思います。
- * 症例数が少なく相談相手に乏しいので悩みが解決しないので、標本の解説をして欲しい。
- * やはり百聞は一見にしかずというのが多いので、症例提示またフローサイトなどは、データの読み方などをやっていただけるとよいのでは。
- * 芽球がたくさん出て悪い症例だなと分かる症例だけではなく、末血の血液、生化学データを理解してこれは見逃してはいけないポイントなどを標本とあわせて見せたらよいと思う。微妙な異常など・・・

・ 認定技師のための学術教育活動について

- 3ホ その他

- * 自分の得た知識の再確認をしたい。

- 4 具体的活動について

- * 高度な技術・知識を学ぶのは、なかなか出来ません。集中的に行うセミナー等で、必要とされるものを得たと思います。

- * 特集号発行等。
- * ステップアップセミナー。
- * 「つぶやき」のような考え方の指針となるようなこと
- * WHO分類など新しい知見などを分かりやすく提供していただきたい。
- * 自施設では血液内科が無く、研修会や学会などに参加して情報を得ていますが、普段症例を経験されている方とのレベルの差を痛感しています。症例を見る機会の少ない人のための研修会があったらよいと思います。
- * 今回のセミナーより少し「くろうと」向けのもの

. 臨床検査技師の卒前教育に対する学術教育委員会の役割と関わりについて

- 4 検査室側あるいは教育施設側からのご意見、ご提案

- * 細胞の鑑別の標準化に向けて各施設間の格差を縮める方法を確立してほしい。
- * 実際の臨床にどこまでのことが要求されているかが多く知りたい。
- * このようにフランクに症例について検討できる機会を作っていただきたいと思います。病院によっては症例にかなり偏りがあるので
- * 実習がどこまで理解できているのか学校での実習はどのくらいやっているのか不明なので、実習期間内で何をさせれば良いのか戸惑ってしまいます。

. 学術教育委員会の教育的活動のあり方について

- * 今回の冬季セミナー参加の選定のようにリピーターを選ばず、多くの技師達に参加の機会を与えて欲しい。HPを利用して、いろいろな症例をながして欲しい。
- * ありがとうございました。
- * 貴重な公演ありがとうございました。今年、初めての方を選んでということでしたが、できればまた参加させていただきたいです。
- * 学術集会(北海道)に参加したのですが演題発表の後の質疑応答のときごく一部でしたが大学間のけんかというのではないのですが、きつい質問が多いように思われました。もっと仲良く教えあうような雰囲気作りが必要と思われました。

以上